



# 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

## 2023年11月号ブリテン

通算第146号 2023. 11. 30



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:30

2022—2023年度 主 題 (Theme)

国際会長: (IP) ウルリック・ラウリドセン(デンマーク) 「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長: (A・P) 利根川恵子(川越クラブ) 「変革のための光となろう」

東日本区理事: (RD) 山田公平(宇都宮クラブ) 「未来のために今、学びと気づきを!

未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

北東部長: 大久保 知宏(宇都宮)

「ユースと共にクラブのミッションをそだてよう」

仙台広瀬川クラブ会長: 菅野 健

「震災とコロナを乗り越えた力でワイズとYMCAの協働を進めよう」

### 今月の聖句

『平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。』

マタイによる福音書5章9節

加藤 雄一

### 巻頭言

『日本を見つめなおす』

増山和憲

日本の風景や文化、食などは世界に誇れること、物がたくさんあると日々思っています。私自身はどこかに旅行するなどあまりありませんが、テレビでは、日本に旅行に来られる外国の方のインタビューを見る機会があります。紅葉の名所や日本独特な建造物を観光していたり、珍しいものでは、温泉に浸かる動物、他にも色々ありそうですね。文化にしても、着物や武道、歌舞伎、茶道などが身近にあります。私たちが思う以上に、日本へ旅行に来られた外国の方は、その1つ1つに目と心を奪われ、日本の魅力を感じていると思います。私たちが住んでいる日本、東北、仙台の魅力を探ると、新たな発見に繋がり見つめなおす機会になるかもしれませんね。

2023～2024 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	メネット副会長	加藤 真紀子	ユース	佐藤 健吾
副 会 長	加藤 研	地域奉仕CS	阿部 松男	YMCAサービス	門脇 秀知
書 記	多田 修	地域奉仕CS	佐藤 健吾	YMCAサービス	佐藤 善人
書記補佐	増山 和憲	会員増強EMC	加藤 研	ブリテン	増山 和憲
会 計	多田 修	会員増強EMC	清水川 洋	ブリテン・聖句	加藤 雄一
会計補佐	多田 純子	DBC	菅野 健	ドライバー	増山 和憲
監 査	加藤 雄一	DBC	村井 伸夫	担当主事	増山 和憲
メネット会長	多田 純子	ユース	佐藤 剛		

11月第1例会 強調月間：ワイズ理解／ファミリーファスト							
在籍者	12名	出席者	4名	メイキャップ	0名	出席率	33%
メネット	2名	ゲスト・ビジター	0名	ニコニコ	4,000円		

◆11月第2第例会報告◆  
 日 時：11月1日（水）18：45～  
 場 所：仙台YMCA立町会館  
 参加者：加藤研メン、加藤雄一メン、菅野メン、加藤メネット、多田メネット、増山  
 ゲスト：小林尚美さん（仙台YMCA職員）  
 ・菅野会長より「2週間後に予定されている日本語プレゼンテーションに向けて最後の例会となる。準備をしっかりと進めていきましょう。」と挨拶があり例会が始まりました。  
 【協議事項】  
 1)「日本語プレゼンテーション」について  
 ・ゲストの小林尚美さんより、参加する留学生の人数やスピーチをする内容などの話がありました。また、加藤研メンより当日の流れなどの説明がありました。  
 2) YMCAクリスマスについて  
 ・YMCAクリスマス実行委員の多田メネットよりチケットや食事の提供についての話がありました。食事に関しては、コロナ前のように食事を提供していくとの事だった。  
 （報告者：増山）

◆11月第1第例会報告◆  
 日 時：11月18日（土）日本語プレゼンテーション終了後  
 場 所：仙台YMCA立町会館  
 参加者：加藤研メン、加藤雄一メン、菅野メン、加藤メネット、多田メン、多田メネット  
 ・プログラム通り（ワイズソングと信条省略）に進み、クリスマス例会は加藤雄一さんに一任され、昨年利用した、「ビストロ シャスール」に決まり、開催日は12月20日（水）19時～を予定しています。  
 ※クリスマス例会ですが、第1例会時とは日程や場所が変更になります。今後の予定をご確認下さい。  
 本日行われた、日本語プレゼンテーション無事に終わって良かった。との話と12月1日（金）に行われるYMCAクリスマスご参加をお願いします。との話があった。  
 （報告者：多田メネット）

## 理事メッセージ

### 「ワイズに変化を」求め続けて早 4 か月、何ができたか、 どう考えるか

今期は、「東日本区のワイズ運動に変化を生み出したい」という思いで始まりました。この1年で私が目標 8つを挙げて始まりました。9-10月に多くの部会が行われ、さてどこまで出来たか、出来なかったか、忙しさの中でなかなか動きません。部会は楽しく、すべてよし!という雰囲気でした。8項目の具体的目標を挙げていますが、すべてが、ワイズに新しい力と意味を生み出すことを目指したものです。これまでの動きや成果をどう考えているか、皆さんと分かち合います。

#### 目標 1. ユースエンパワメントをワイズの看板に

「ユースエンパワメント」という言葉は、YMCA 世界同盟や日本 YMCA 同盟でもよくつかわれる YMCA が目標とする活動です。ユースを育成す Forum (YVLF) を9月4-6日に東京 YMCA 山中湖センター(キャンプ場)で行いました。「みつかる、つながる、よくなっていく」というテーマで、何ができるか、どうあるべきかを話し合いました。もう一つの大きな事業は Asia Youth Convocation (AYC) です。アジア太平洋地域主催の 4泊5日の国際研修でネパールのカトマンズで行われました。東日本区からは13名のユースの参加があり、推薦クラブのサポート、部レベルからのサポート、さらには東日本区基金 (JEF) から各参加者への支援金が提供されました。参加したユースは皆、新たな国際体験を通して大きな自信を感じる体験となりました。来年から東西日本区合同で行われるユースアクションは、ワイズの看板になる事業です。今年秋に募集要項を準備し、来春 (2024年1月-2月) にプロジェクト募集をし、3月に10のプロジェクトを選考、実際のアクションが始まるのは来年の学校年度が始まる4月か5月からです。全国で10プロジェクトに助成金を提供します。このプロジェクトは、来年5月からの実施ということになりますが、その準備段階を今年度に行いますのでワイズの年度にすると2年がかりのプロジェクトになります。これから勝負です。東日本区では、タスクチームを設け、西日本区と協議しながら進める予定です。今から、どんなユースグループがこれに関心を持つかなど是非ともクラブで、部で、YMCA と共に考えて下さい。

#### 目標 2. 独自の (Youth Led Project) ユースレッドプロジェクトの展開も

上のユースアクションとは別に、小さい規模であっても、東日本区では4-5か所のユースレッドプロジェクトを行います。例えば北海道には3つのクラブがありますが、その

中でいくつかのクラブと YMCA でユースアクションに取り組みたいと計画しています。小さい規模の学生 YMCA でもいくつかこのプロジェクトに挑戦してもらいたいと思います。ユースの変化や喜びを少しでも多くの地域で感じてもらいたいのです。2024年6月1日は東日本区大会を北海道帯広で行います。その時の目玉としてユース事業の北海道版の報告と協議をしてもらいたいです。ユースアクションやユースレッドプロジェクトを通して学Yとの関係を築きあげるきっかけになることを望んでいます。

#### 目標 3. 福島と長野に YMCA を「ワイズと YMCA のエクステンション」

福島県や長野県には YMCA がありません。今ワイズがある長野市や松本市で YMCA 運動を興す、そんな働きを支えるワイズを強化するという当初の目的をこの年に目指そうと検討を始めました。YMCA の会館を持つことや専属のスタッフを置くということではありません。9月2日の北東部会は福島市で行われ、現地で YMCA にかかわりを持っていた個人や教会と話し合いました。長野クラブと松本クラブの関係者とは、10月21日のあずさ部会の後に話し合いました。10月9日には、盛岡で行われた東日本地区総理事会で総事の方々と長野、福島など YMCA のない地域での YMCA について話し合いました。これからのきっかけとして地元の関心を生み出す講演会や話し合いの機会を設けること、あるいはチャリティーランなどのイベントを行い、そこで得られた資金を使って障がい児とのキャンプを近くの YMCA と協力してできないかという話しも出てきました。長野でも松本でも可能性はあるのはという話になっています。夢を語るだけにせず、確実に前進できるための話し合いを進めるつもりです。

#### 目標 4. クラブライフを意味あるものにしていくために

各クラブでクラブライフをさらに楽しくする、クラブが目指すものを分かりやすくする、そしてそこに人を誘えるようにする、それがクラブライフをより良くする発想の原点かも知れません。「それをするために何ができるか」を考えてきましたが、答えは前述のユースエンパワメント事業の促進をとというだけでなく、各クラブで行う CS 活動をもっと充実させる、そのためには資金も可能な限り投入すべきという考えが、法人推進委員会から出てきています。小さいクラブだけでは難しい場合には、近隣のクラブと合同例会にして、講演会を実施し、そこからできることを検討していくという発想も少しずつ生まれつつあるように感じます。

#### 目標 5. 地域での活動、国内での活動を充実したものに するため

これまでユースアクション、CS 活動充実への取り組み、国際イベントの実施などが出てきています。それらをより意味のある形にするためには資金が必要です。資金集めをしっかりする、支えたい活動やクラブで取り組みたい活動があれば、それに必要な資金を集める工夫をしていくことが大切です。応援できるところに資金面で応援するという活動です。資金集めの充実がクラブ単位で、地域で、YMCA との協働事業として取り組んでいこうにしたいと思えます。これらを法人推進委員会を中心に協議をしています。

#### 目標 6. 国際・交流活動の具体的展開の一步を

ワイズの国際活動には BF (Building Fellowship) TOF (Time of Fast)、交流活動として IBC (International Brother Club) などがあります。この国際的関係をより身近に感じようような仕組みを作る必要を感じています。例えば、ある特定の国のクラブや YMCA と組んで一緒に TOF のプロジェクトを作り、そのクラブや YMCA と BF で人の派遣や現地のワイズメンを招いたりもできます。それが IBC となって交流や協力を継続的にすることもできます。国際活動はワイズの特徴となりうる活動ですが、具体的な展開を今後の国際交流事業委員会に検討と実施への仕組みを作ることを検討しようとしています。来年度の計画として国際ネットワークを活用してワークキャンプを検討してみようという国際交流事業委員会で話し合われました。

#### 目標 7. iGo (ユースのインターンシップ) を国内で始める工夫を

iGo というプログラムは、Internship for Global Outreach の略で世界に羽ばたき、活動したいユースのインターン制度です。これは、ユースが1か月程度海外の YMCA 活動などにインターンとして送り出す制度です。そんな新たな活動を国内でのインターン制度で出来ないものか検討を始め、来年度以降のユース事業として検討を始めようと考えています。このプログラムこそ、ワイズと YMCA ができる協働事業になるのではないのでしょうか。実習を受け入れる地域のクラブは、実習生のホームステイ、例会への招待など、実習中のユースを支えることとなります。

#### 目標 8. 将来のワイズを一緒に考え、話し合い、提案していきませんか?

東日本区 チーム・イノベーション(旧称:将来構想検討チーム)が9月に8名の若手の委員で始めました。ワイズのこれからの在り方、10年後にはこうなってほしいというビジョン、中長期的目標や計画、そしてそのための戦略を提案していくこととなります。ワイズの強みや弱みを見極め、そこから将来ビジョンを描いていきます。

来年4月に行われる第3回役員会を一つのターゲットにしていくことになりました。

#### この2か月間のニュース

部大会開かれる:北海道部(8月)に始まり、9月には北東部、10月に入り東新部、富士山部、あずさ部、関東東部、そして11月には湘南・沖縄部が行われる予定です。交流と学びの場になり、他クラブや西日本区からの参加もありました。

エルマークロウ賞受賞および国際ブースター賞受賞者: 昨年度期の東日本区部長の中から2名のエルマークロウ賞が授与されました。一人はあずさ部富士五湖クラブの後藤明久直前部長であり、もう一人は東新部の深尾香子直前部長でした。顕著で意欲的な貢献をされた部長としてこの荣誉あるエルマークロウ賞が贈られました。佐藤直前理事がそれぞれの部会の中で表彰盾が送られました。また、国際会長表彰の会員増強ブースター賞が2名のワイズメンに贈られました。甲府やまなみクラブ設立に当たり、6名入会者を紹介された仙洞田ワイズと4名入会者を紹介された藤原現会長にメダルが贈られました。

第30回アジア太平洋地域大会:11月3-5日、香港で開催され、総勢360余名の参加を得て、盛大に行われました。東日本区の利根川恵子さん(川越)が Area President であり、田中博之さん(東京多摩スマイル)は今大会の実行委員長を務めました。外国からの参加者の中で一番多く参加したのが東日本区で総勢52名でした。2泊3日という短い期間でしたが、バスツアーもあり、会食など楽しい交流ができました。

### 第3回日本語プレゼンテーション

11月18日(土)に行われた『第3回日本語プレゼンテーション』ですが、記事が間に合いませんでしたので、次号、掲載いたします。申し訳ございません。

### 今後の予定

- ◆12月 1日(金)  
仙台YMCAクリスマス
- ◆12月 6日(水)  
仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第2例会 18:45~
- ◆12月10日(日)  
仙台YMCA職員共済会クリスマス

- ◆12月17日(日)  
国際・地域協力募金 街頭募金
- ◆12月21日(木)  
仙台クラブ合同クリスマス例会  
場所：仙台YMCA

## 仙台YMCA通信

◆11月19日(日)に山元町ボランティアいちごワークが行われました。今年度最後の活動は、10名の参加となりました。

◆11月23日(祝)に国際・地域協力募金の一環で街頭募金を行いました。今回、2ヶ所で行い、合計金額は、165,860円となりました。皆様の温かいご支援に感謝いたします。次回は、12月17日(日)に予定しています。

◆12月1日(金)に仙台YMCAクリスマスがトーキョーネットホール仙台で行われます。留学生と共に、クリスマスを祝いたいと思います。

◆12月10日(日)に仙台YMCA職員共済会クリスマス礼拝&祝会が行われます。クリスマスをワイズの皆様と祝えることに感謝いたします。

### 【編集後記】

今年もあっという間に1年が経とうとしています。月日の流れの速さに驚いている今日この頃です。今年も日々の生活を過ごせたことに感謝いたします。来年も健康第一に過ごしていきたいと思います。

【K・M】